嘉世咨询
MARKETING | CONSULTING | RESEARCH

MARKET
ANALYSIS

中医薬 2024
業界分析レポート

THE BRIEF MARKET ANALYSIS REPORT ON CHINESE MEDICINE

MCR

Copyright © 2023 Shanghai Justice Marketing Consulting co.,Ltd

ビジネス提携/コンテンツ転載/詳細レポート

01. 中医薬は、現代医学の4大分野をカバーする

- 2019年8月の薬監法では、臨床的価値を重視し、人体疾患に対して明確または特別な治療効果を持つ医薬品のイノベーションを国が支援し、新たな治療メカニズムを持つ新薬や、生命を脅かす重篤な疾患や希少疾患を治療する新薬、また人体に対する多目的な体系的調節・介入機能を備えた新薬の開発を奨励し、医薬品技術の高度化を推進すると明記された。一方、中医薬は、全体的な概念と症候群に基づいた治療を重視し、病気の予防と治療という独自の長所を備えている。
- 2023年2月に国家薬品監督管理総局が発布した「漢方薬の登録と管理に関する特別規定」では、一般的な医薬品の臨床的価値に加えて、病気の発病を遅らせる、症状を改善する、病気に関連して患者の身体機能や生活の質を改善する、化学薬品と併用する医薬品の効果を高め毒性を軽減する、または毒性副作用が明らかな化学薬品の用量を減らすなどの状況を評価することも、漢方薬の治療効果の評価とみなすことができると強調されており、これは漢方薬の独特な優位性に対する国の十分な認識を反映したものである。

中医薬はその独自の利点により、現代医学の4大分野をカバーする

中医薬の3大メリット

「病気の予防」の主役 ↕ **健康と予防医学**

主要疾患の治療における相乗効果 ↕ **治療医学**

病気回復の中心的役割 ↕ **リハビリテーション医学**

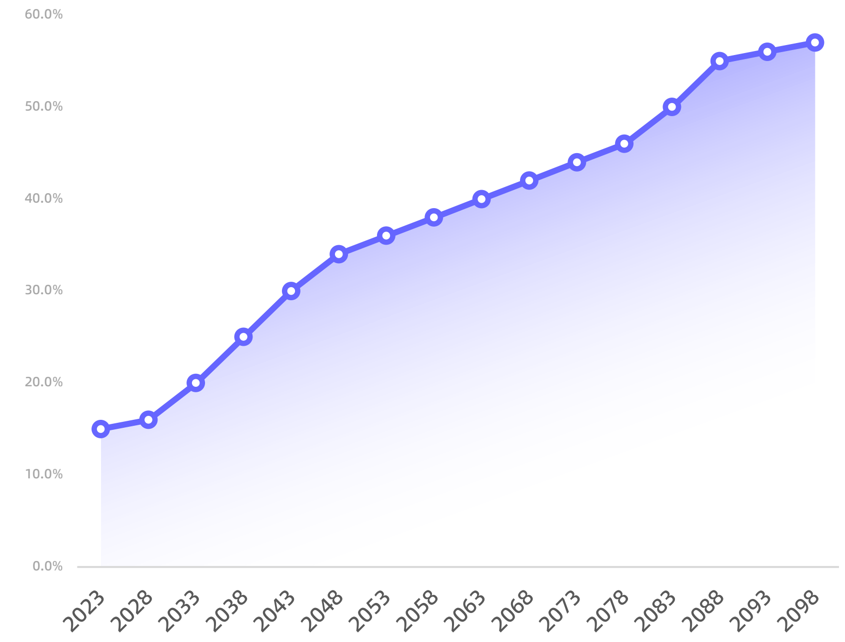
現代医療システムの4つの主要分野

データの出所：公開データ整理、MCRリサーチ、WEB画像

02. シルバー経済が中医薬産業の高度繁栄を促進

- 2016年2月に「中医薬発展戦略計画大綱（2016-2030）」が導入され、中医薬の発展が国家戦略として正式に台頭したことを示した。それ以降、「 中医薬法 」、継承と革新の発展を促進する意見書や政策措置が相次いで導入され、2021年末には重大な健康保険支援政策が打ち出された。
- 2023年初め、「中医薬活性化発展重大プロジェクト実施計画」が発表され、各方面の責任を強化し、全面的な実施を推進し、中医薬資源の拡大や産業の高度化、普及率の向上を推し進めることになった。中医薬業界は、業界標準、体制、サービス体系の確立と改善により、中医薬と西洋薬が同等に重視され、支持と標準化が行われ、継承と革新が並行するという良好な状況を呈し，質の高い発展へと踏み出した。

中国の65歳以上人口に占める低位予測の割合(%)



高齢期における慢性疾患の発症は、加齢と密接な関係がある。年をとるにつれて、人体のさまざまなシステムの機能が徐々に低下し、代謝、修復、免疫の能力が徐々に弱まるため、加齢に関連した病気が発生する。

神経
アルツハイマー病、パーキンソン病 、脳梗塞、脳卒中、不眠症

骨
骨粗鬆症、腰椎椎間板ヘルニア、頚椎症、変形性関節症、骨棘

免疫
腫瘍、各種感染症

筋肉
サルコペニア、筋肉疲労、筋肉萎縮

呼吸器
特発性肺線維症、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、慢性気管支炎

皮膚
抜け毛、帯状瘢痕、老人性色素斑、老人性そう痒症、ヘルペス性皮膚症、慢性色素性紫斑、日光角化症

循環
動脈硬化、冠動脈性心疾患、心不全、老人性心筋症

消化
慢性尋常性胃炎、消化性潰瘍、便秘、脂肪肝、老人性肝炎

生殖
勃起不全、早発卵巣不全、卵巣予備能の低下

データの出所：公開データ整理、MCRリサーチ、WEB画像

03. 中医薬産業の高品質な発展を促進する政策

- 2022年には、中国の65歳以上の人口は2億1,000万人となり、総人口の14.9%を占め、2000年と比較して7.9%増加した。YuWa人口調査の予測によると、第2次、第3次のベビーブーマーの世代が徐々に老齢期に入り、少子化の影響も相まって、高齢化の流れが加速し、2032年頃には高齢者人口の割合が20%を超える超高齢化社会に突入すると予想されている。
- 人間の身体機能は年齢とともに低下傾向にあり、代謝機能、修復機能、免疫機能が低下し、高齢者の罹患率が上昇し、慢性疾患に罹患しやすくなり、質の高い治療が求められるとともに、慢性疾患は経過が長く、合併症が多く、治療が困難なため、一般に高齢者の平均年間治療費は若年層や中年層に比べて高額である。

近年における中医薬産業の発展を奨励する重要な国家政策の大要

中医薬産業の代表的政策の導入が続く

2019「中医薬の継承と革新の発展促進に関する意見」
2020「漢方薬の継承と革新の発展促進実施関する意見」
2021「中医薬の特色ある発展を加速するための若干の改革弁法」
2021「中医薬の継承と革新の発展を支える医療保険に関する指導意見」
2022「中医薬発展第14次5カ年計画」
2023「中医薬活性化発展重大プロジェクト実施計画」
2023「第十四次五カ年計画における中医薬文化振興プロジェクト実施計画」
2023「製薬業の高品質発展のための行動計画（2023-2025）」
2023「漢方薬の科学監督をさらに強化し、漢方薬の継承と革新の発展を促進するための若干の措置に関する通知」......

供給側

- 革新的な漢方薬の承認と販売を加速する
- 中国伝統漢方薬の二次発展を促す
- 中医薬人材の育成と供給を拡大する
- 一次医療機関における漢方相談・治療サービスを推進する
- 中医薬サービスシステムを改善し、中医薬の特色を持つ重点病院、国家中医薬流行予防治療基地、中医薬病院などの配置と建設を改善する
- 典籍の保護と継承を強化し、普及プラットフォームと経験ホールを創設する

需要側

- 国民の健康意識を高める
- 漢方薬の疾病予防機能をピーアールする
- 国民の中医薬の文化に関する知識と漢方医療に対する意識を向上させる

支払側

- DRG、DIPなど医療保険支払方法改革における中医薬専門疾患（群）の適用を推進する
- 中医薬の価格管理を強化する
- 認定中医学医療機関を指定医療保険サイトに組み込む
- 漢方薬の特性に適した支払いポリシーを検討・改善する

カバーしたこと

漢方薬の登録
査定と承認
品質管理
漢方薬革新
漢方薬の品種保護
中医薬治療とサービス
中医薬文化の振興
漢方薬の輸出
パイロット・プロジェクトへの
財政支援
...

データの出所：公開データ整理、MCRリサーチ、WEB画像

04. 中医薬産業チェーン

- 漢方薬産業チェーンにおいて、川上産業は主に漢方薬の栽培業、養殖業、畜産業などであり、川中産業は漢方薬の原料を直接消費できる中薬飲片や中成薬などに加工する漢方薬加工製造企業であり、川下産業は主に医薬品流通業であり、漢方薬生産者の製品を病院や薬局などの漢方薬消費市場に届ける。

中医薬産業チェーン

川上の原材料および部品

漢方薬のサプライヤー

- 栽培業
- 畜産業
- 養殖業

川中医療機器の研究開発、製造、販売、サービス

漢方薬企業

- 中薬飲片
- 漢方薬顆粒
- 中成薬
- 漢方薬エキス

川上:原材料サプライヤー

漢方薬企業

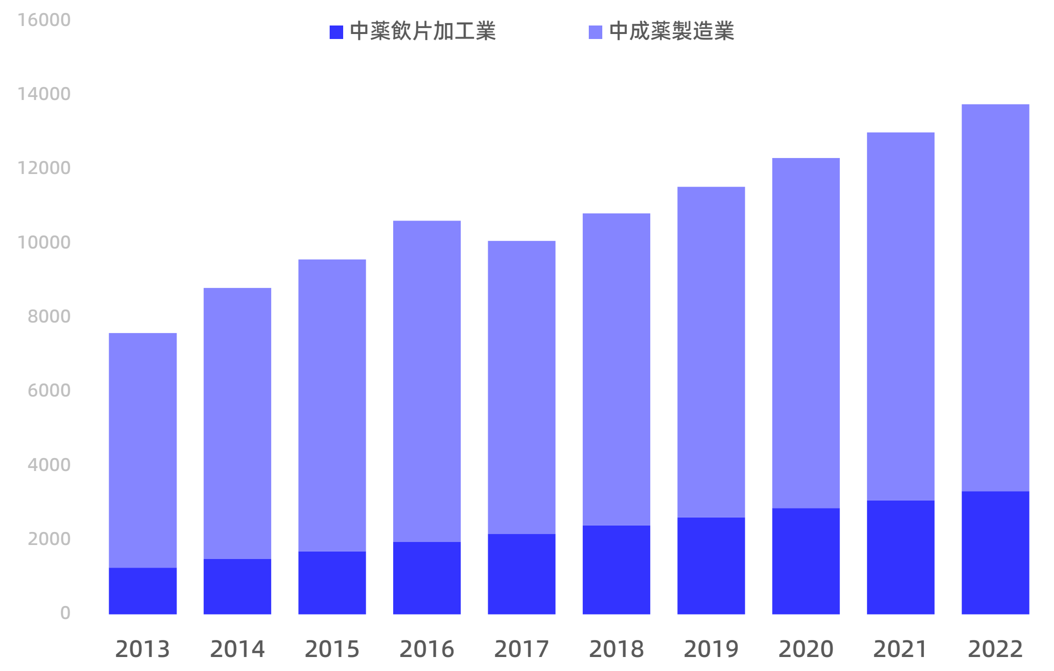
- 医療施設
- Eコマース・プラットフォーム
- 小売薬局
- 海外輸出

データの出所：公開データ整理、MCRリサーチ、WEB画像

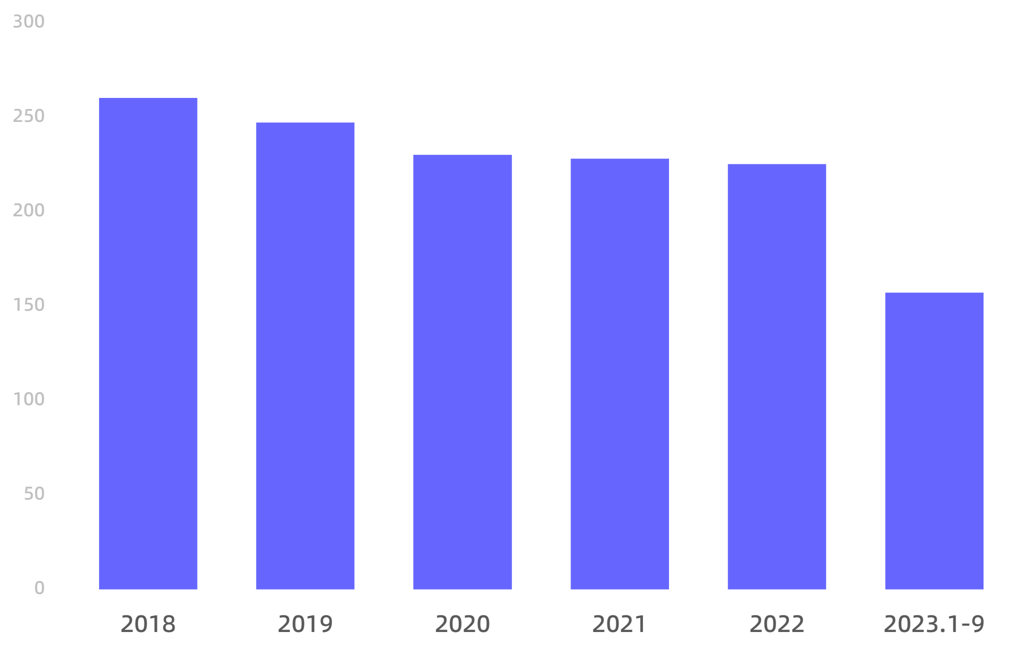
05. 2023年、漢方薬生産の転換点

- 漢方薬業界の市場規模は2022年に1兆3800億元に達し、2013-2022年の10年間の複合成長率は7%近くに達した。中でも中薬飲片産業は2018-2020年の業界是正・厳格管理段階を経て安定した上昇傾向を示しており、2013-2022年の複合成長率は11.39%、中薬飲片加工産業の市場規模は2022年に3323.8億元に達した。
- 2013年から2022年までの中成薬市場規模の複合成長率は5.71%で、2022年には1兆400億元に達する。医療保険料のコントロール、補助薬への重点的な監督などの理由で、近年の生産量はある程度の変動を示しているが、減少率は縮小しており、2022年、中成薬の生産量は227.7万トンで、前年比1.77%減少し、2023年1月から9月まで、中成薬の生産量は157.4万トンで、前年比22.2%増加し、2023年の生産量は転換点を迎えると予想される。

中国漢方薬産業の主な事業収入（億元）



中国の中成薬の生産量（万トン）

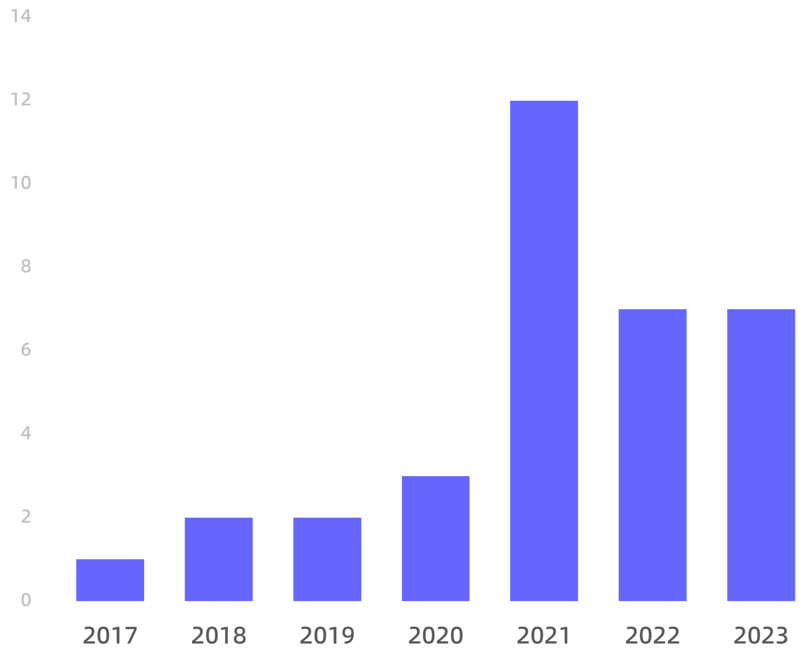


データの出所：公開データ整理、MCRリサーチ、WEB画像

06. 漢方薬の革新的研究開発が加速

- 革新的漢方薬は第一類漢方薬であり、2022年には医療保険を利用できる割合が85%を超える。革新的漢方薬は、新たな治療効果を特徴とし、臨床的価値の評価を重視し、満たされていない臨床ニーズへの対応に重点を置いていることが、中国で未上場でなければならないという従来の要件とは異なり、国内外で新薬であるという要件を満たす必要がある。
- 2017年から現在（2023.12.22現在）までに、市場で承認された漢方新薬の累計数は34品目に達し、そのうち2021年以降に販売が承認された新薬は26品目で76.47%を占めている。 呼吸器系疾患治療薬と神経系疾患治療薬は、依然として漢方新薬の主要かつホットな分野である。

2017年以降に上市した新漢方薬の数



2021-2023年上市した第一類漢方薬リスト

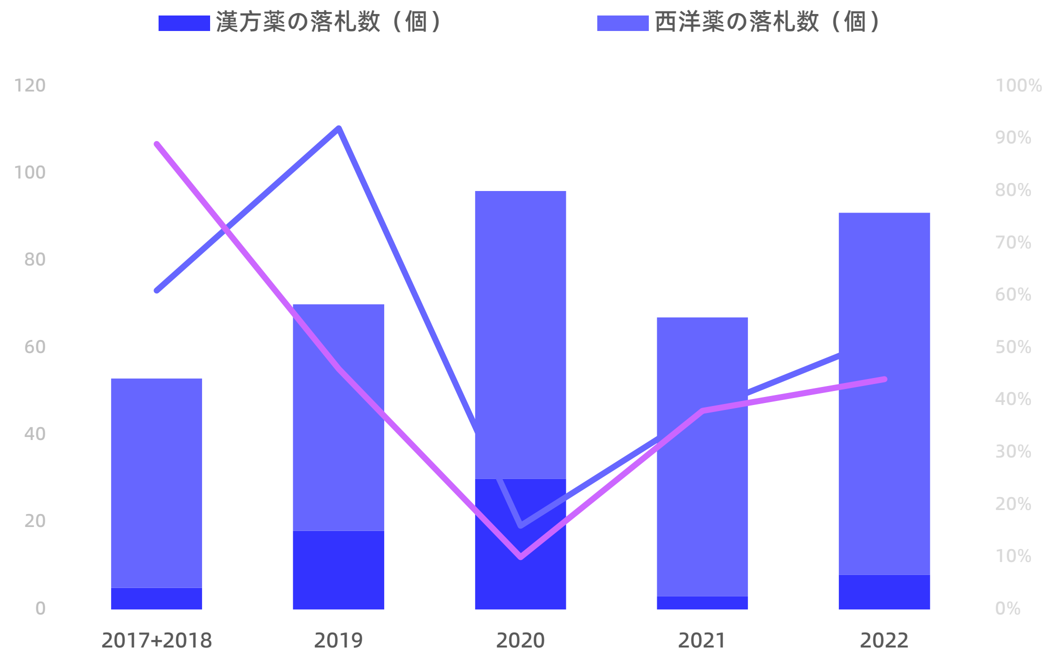
薬名	メーカー	適応症	登録区分	承認NDA	医療保険の有無
玄七健骨	方盛製薬	変形性膝関節症	1.1	2021/11/26	有
坤心宁	Tasly	更年期症候群	1.1	2021/11/26	有
解鬱除煩	以岭薬業	軽度～中等度のうつ病	1.1	2021/12/6	有
虎贞清風	一力製薬	痛風性関節炎、発熱	1.1	2021/12/16	無
芪蛭益腎	凤凰製薬	初期の糖尿病性腎症	1.1	2021/11/26	有
銀翘清熱	康缘薬業	かぜ	1.1	2021/11/10	有
七蕊胃舒	健民集団	びらんおよび湿熱うっ滞症候群を伴う慢性非萎縮性胃炎による胃痛	1.1	2021/12/31	有
参葛补肾	華春薬業	うつ病、健忘症	1.1	2022/12/29	無
参郁宁神	広東思济薬業	軽度～中等度のうつ病	1.1	2023/6/8	無
広金銭草总黄酮カプセル	光谷人福	尿管結石	1.2	2022/9/15	無
淫羊藿素软カプセル	珅诺基	肝臓がん	1.2	2022/1/10	無

データの出所：公開データ整理、MCRリサーチ、WEB画像

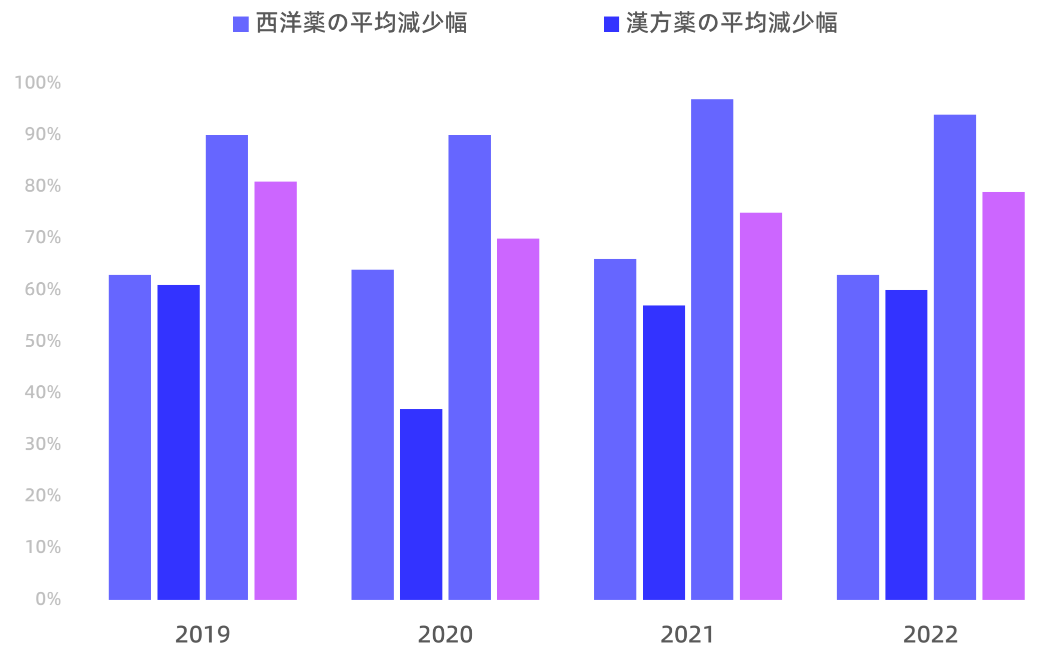
07. 新漢方薬の医療保険への優先的組み入れ

- 2022年の健康保険カタログには、制限を解除された中成薬が16品種ある。2023年7月21日、国民健康保険局は「交渉薬契約継続 の 規定」を公布し、非専売医薬品と、2回連続の協定期間（4年間）支払基準や支払範囲の調整が行われなかった専売医薬品を、カタログの「協定期間中の交渉薬部門」に含め、管理期間は8年とした。基金への影響が少ない（1回以内）専売医薬品は契約継続が容易で、医療保険の支払い範囲も調整できるため、新規適応症が比較的少ない患者にとってはメリットとなる。
- 簡素な契約継続は、交渉プロセスを簡素化し、交渉の効率を向上させるだけでなく、医薬品の経済性や有効性を考慮し、医療保険交渉における価格引き下げの期待を安定させ、新薬の研究開発や適応拡大を促進する。

例年の健康保険カタログ調整時のカタログ外交渉医薬品落札率と落札数



例年の健康保険カタログ調整時に成功したカタログ外交渉医薬品の値下げ



データの出所：公開データ整理、MCRリサーチ、WEB画像

08. 中成薬収集の正常化の傾向が現れた

- 2023年3月1日、国民健康保険局は「2023年医薬品の集中購買と価格管理に関する通知」を発布した。　集中購買に関する規定がより標準化・合理化され、集中購買による利益圧縮の圧力は緩和される傾向にあり、企業が集中購買を通じて自社製品の市場浸透率を高めるのに好都合である。
- 過去の統計によると、全体的な集中購買削減率はコントロール可能であり、病院における中成薬の拡大に寄与している。現在、広く注目されている国家中成薬集中購買第一陣の落札案が発表され、削減率は49%と比較的穏やかである。

例年の健康保険カタログ調整時に成功したカタログ外交渉医薬品の値下げ

連盟	種類	種の数	平均減少幅	実行時間	設立時間	（予定）落札発表の時期	実施期間
湖北19省連盟	中成薬	76	42.27%	2022年4月30日	2021年9月25日	2021年12月27日	2年
湖北30省連盟(全国集中購買)	中成薬	16	49.36%	/	2022年9月	2023年6月21日	2年
広東13省連盟	中成薬	53	64.28%	2023年1月10日	/	2023年1月9日	2年
北京市	中成薬	84	23.00%	2022年11月30日	2022年7月29日	2022年11月1日	2年
山东15省連盟	中薬饮片	21	29.50%	2023年8月	2022年11月22日	2023年5月22日	1年
山东省	中成薬	15	44.31%	2023年1月1日	2022年7月21日	2022年9月13日	1年

データの出所：公開データ整理、MCRリサーチ、WEB画像

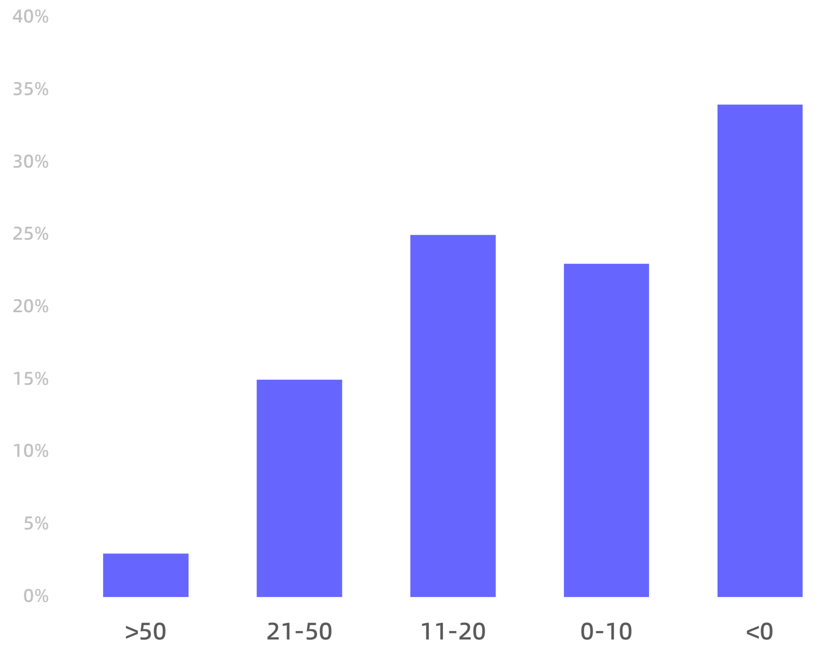
09. 漢方薬、売上総利益率と純利益率が前年比で改善した唯一のサブセクタ

- 2023Q1-3では漢方薬業界の売上総利益率は44.85%、純利益率は12.63%で、それぞれ前年同期比0.48%、2.23%上昇した。漢方薬業界の第1-3四半期の業績が改善したのは、主に感染症予防規制解除後の第1四半期に漢方薬の一部の品種の需要が増加したことと、金融費用率が低下したことによる。
- 2023Q3では、漢方薬業界は引き続きトップ業績を維持したが、単四半期では売上高、純利益ともに伸び率が鈍化した。2023Q3の親会社株主に帰属する当期純利益と純利益が前年同期比でダブルプラスとなったサブセクターは、生物製剤と漢方薬であり、中医薬は2級サブセクターの中で業績が2位であった。
- 2023Q3漢方薬業界の売上高は前年同期比0.42%増、純利益は前年同期比8.28%増、期間経費率は28.67%で前年同期比1.32%減、売上総利益率は43.65%で前年同期比0.78%減、純利益率は10.85%で前年同期比0.93%増となった。

2023Q1-3 医薬品セクターの業績

	収益成長率	純利益成長率	親会社株主に帰属する当期純利益成長率	期間費用率	△期間費用率	研究開発費率	△研究開発費率	粗利率	△粗利率	売上高純利益率	△粗利率
医药生物	1.45%	-19.75%	-19.52%	18.86%	0.96%	3.67%	0.21%	32.92%	-3.83%	9.47%	-2.50%
化学製薬	1.61%	-1.29%	-1.36%	27.55%	-0.29%	7.20%	0.64%	46.71%	-0.15%	10.48%	-0.31%
生物由来製品	6.72%	-10.51%	-7.72%	31.33%	6.88%	7.90%	0.16%	54.15%	-4.39%	19.86%	-3.82%
医療サービス	-3.56%	-17.15%	-16.88%	16.73%	1.16%	4.21%	0.31%	40.90%	-20.91%	17.12%	-2.81%
医療機器	-28.51%	-56.37%	-55.44%	20.92%	6.58%	9.28%	2.79%	50.38%	-5.60%	19.19%	-12.25%
医薬ビジネス	9.16%	-2.58%	-1.28%	9.00%	-0.22%	0.28%	0.00%	12.78%	-0.29%	2.59%	-0.31%
漢方薬	9.57%	33.03%	31.52%	28.21%	-0.44%	2.40%	-0.12%	44.85%	0.48%	12.63%	2.23%

2023Q1-3漢方薬収入成長率分布図

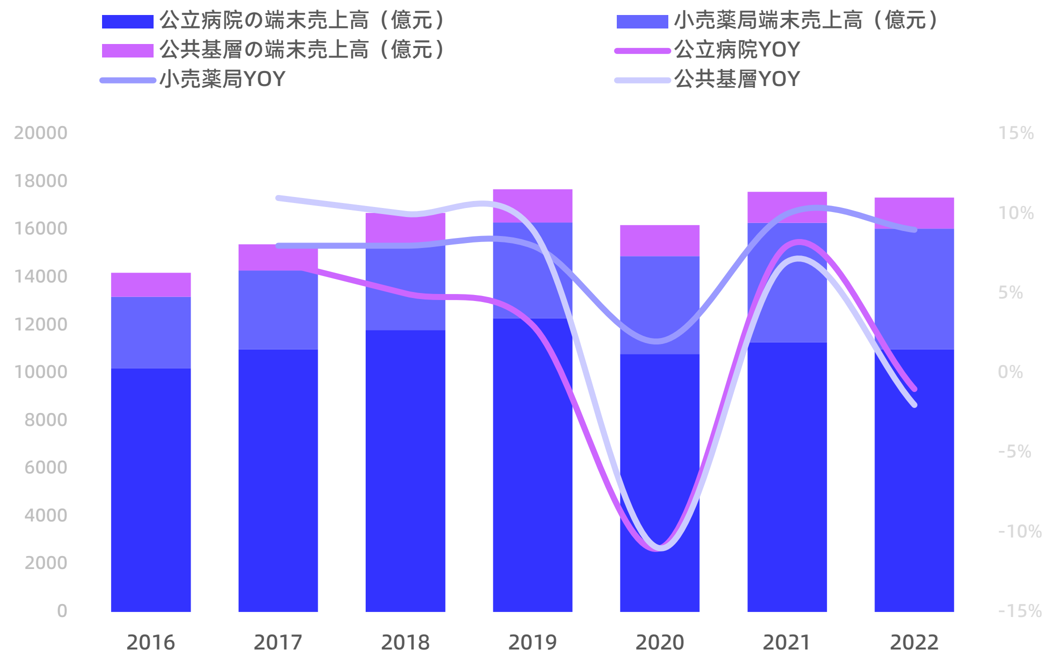


データの出所：公開データ整理、MCRリサーチ、WEB画像

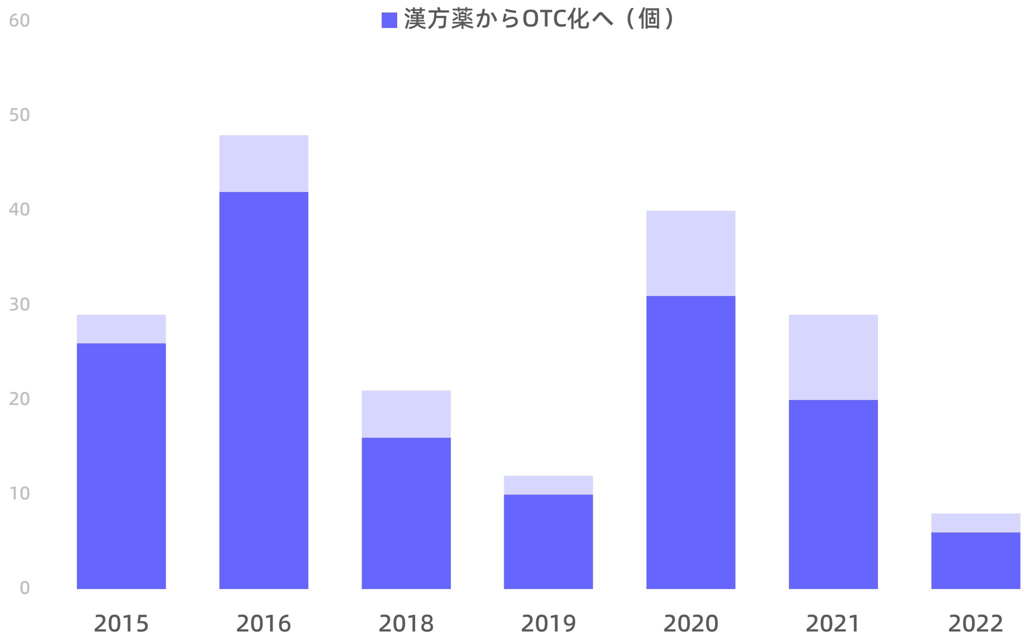
10. 中医薬は広大な小売市場を迎える

- 医療用医薬品は主に病院内で販売され、必然的に医療保険コントロールの圧力に直面する。一方、OTC市場はブランド医薬品の規模を大幅に拡大し、増分スペースは広大である。
- 漢方薬は多くの場合、強い安全性と自己診断の特性を持っている。 漢方薬の成熟した院内品種は、十分な臨床経験と医師や患者の口コミが蓄積された後、小売チャネルでスムーズに販売することができ、特に百合カプセルや藿香正気液入りドリンクのような消費属性のある医薬品はよりスムーズである。

中国3大医薬品販売端末で、小売薬局の売上高は最も急速に伸びた



処方箋からOTC医薬品へ、2015-2022年は漢方薬が優勢

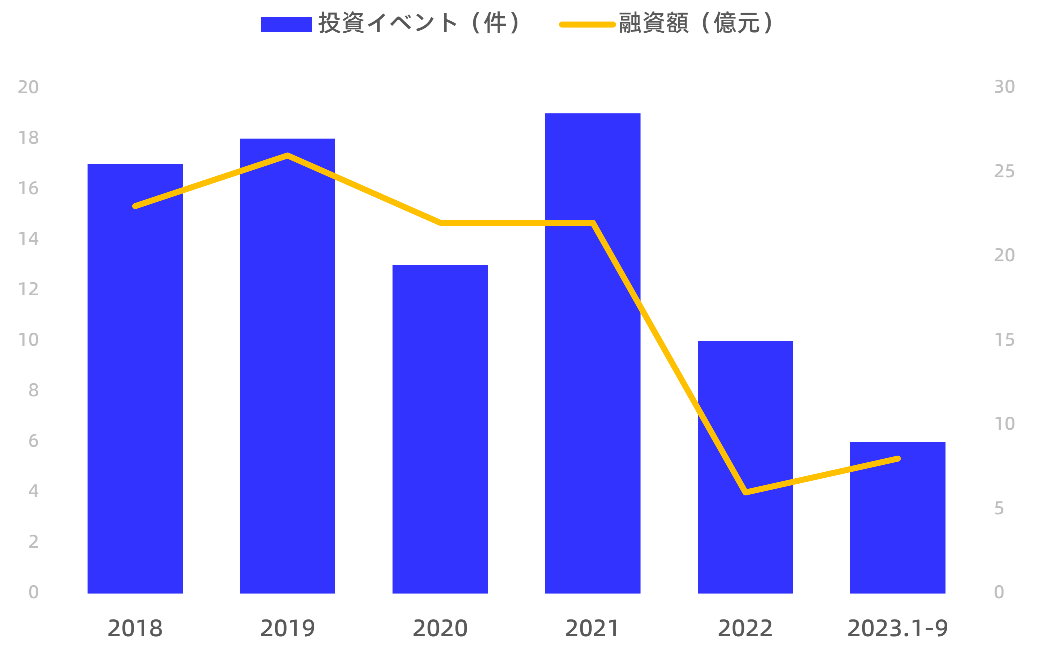


データの出所：公開データ整理、MCRリサーチ、WEB画像

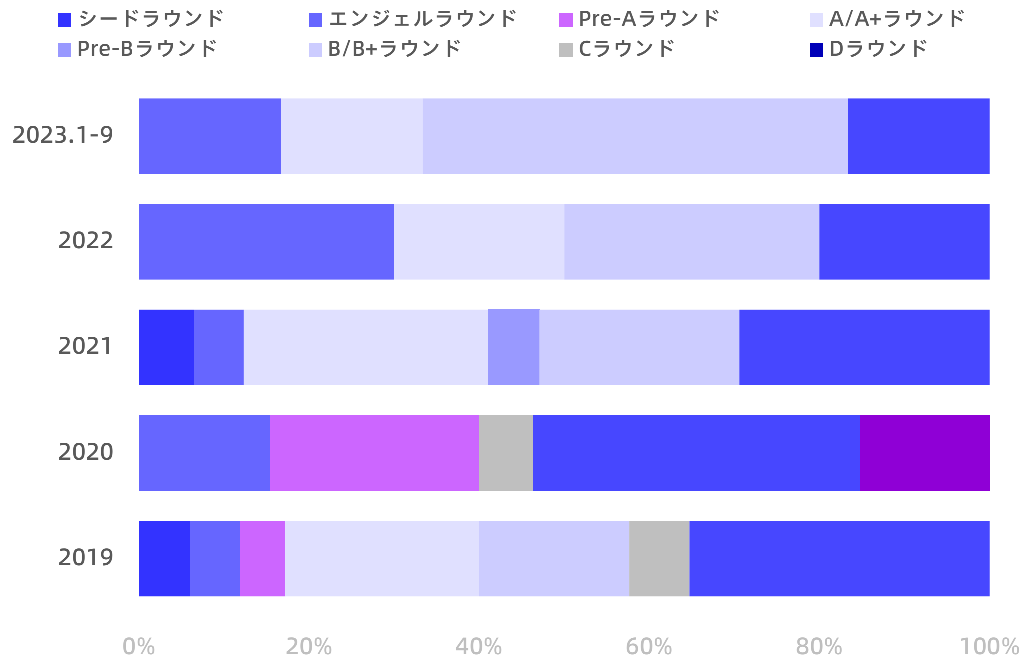
11. 中医薬の投資と融資活動が大幅に増加

- 近年、中医薬業界における投融資はやや変動が大きくなっているが、以前と比べるとかなり活発になっている。2021年中国の中医薬市場では、過去5年以来のピークとなる合計19件の投融資イベントが発生し、投融資額は21億4200万元に達した。2023年9月末現在、投融資イベントは合計6件あり、投融資額は9億元に迫っている。
- 投融資のラウンドから見ると、中医薬業界の投融資は主にシードラウンド、エンジェルラウンド、Aラウンド、Bラウンドなどの段階があり、ほとんどの企業はまだ初期融資段階にあり、投融資のラウンド数が後方にシフトする傾向があり、B/B+ラウンドの割合が大幅に増加している。 政策支援と業界の急速な発展に後押しされ、中医薬・大型健康産業の投資熱はますます高まることが予想される。

近年の中国における中医薬の投資と資金調達



2019-2023.9漢方薬業界における投資・融資イベントのラウンドシェア



データの出所：公開データ整理、MCRリサーチ、WEB画像

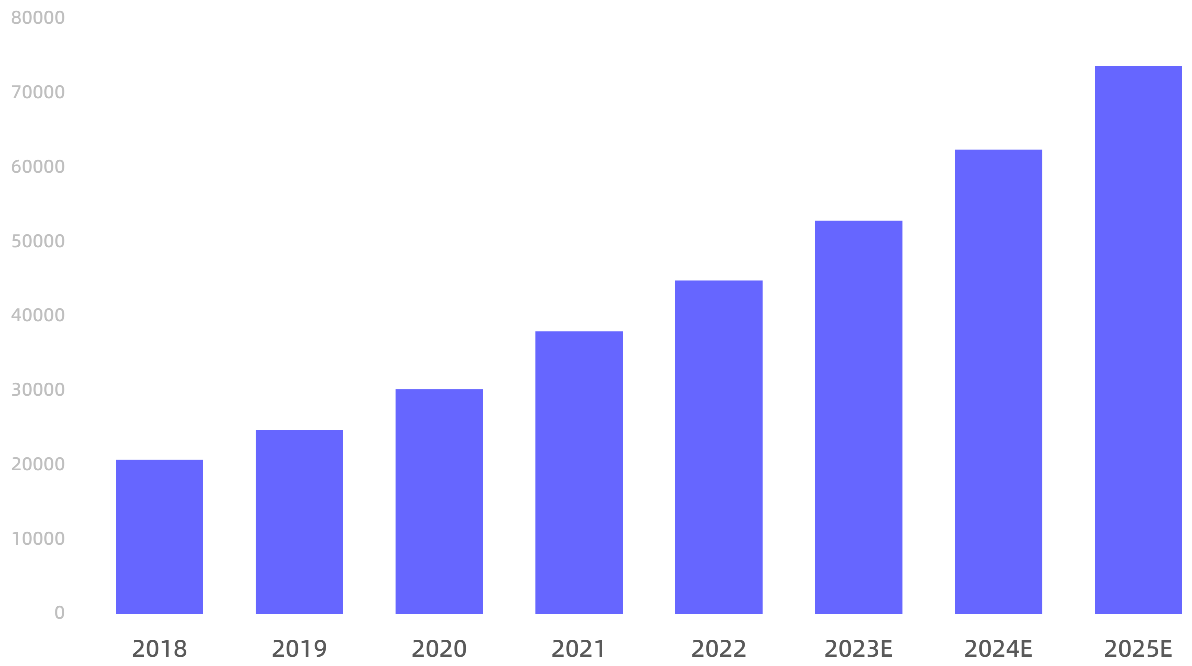
12. 中医薬品は「薬」から「薬＋消費者製品」へとモデル転換

- 漢方薬老舗はブランドの優位性と製品の優位性を武器に、消費財分野に進出しており、流通チャネルとしては、スーパー、小売店、電子商取引、薬局をカバーし、カテゴリーとしては健康食品、飲料、日用化粧品などをカバーしており、既存の利点と処方特有の有効成分を活用して新製品を開発し、消費財分野に展開し、新たな業績成長ポイントを追求する。

漢方薬企業の消費者向け製品への進出が続く

日用品	食品
ヘルスケア製品	化粧品
母子製品	飲み物

中国の中医薬主要健康市場規模（億元）



データの出所：公開データ整理、MCRリサーチ、WEB画像

13. 中医薬業界が直面している4つの課題

不十分な臨床評価システム

新しい漢方薬の審査は、基本的に現代医学の医療証拠評価システムを採用しているが、これは多くの漢方薬の治療特性と矛盾している。医薬品登録の審査要件が「疾病」に対応するのに対し、漢方薬による疾病治療は「症候」に対応し、漢方薬の多標的・多次元・全人的な規制は臨床試験の動物モデルに反映されにくいため、新薬の審査通過率が低くなっている。

01

漢方薬の研究開発と現代医学の統合が不十分

特定の疾患の治療における漢方薬の有効性は広く認められているが、その複雑さと個別性のために、漢方薬の有効性を科学的に証明することは難しい。 現代医療において漢方薬の安全性と有効性を確保するためには、漢方薬の管理と監督を強化し、漢方薬の調製と使用を標準化することが必要であり、漢方薬と西洋薬の統合を実現するためには、漢方医学界と西洋医学界の相互信頼と協力を強化しなければならない。

02

漢方薬の研究開発、技術的な困難に直面

中医薬は分子ターゲットからではなく、数千年にわたる人の使用経験と臨床実践から生まれたものであるため、中医薬の特徴に沿った中医薬品の研究開発技術体系を確立する必要がある。研究開発への投資が全般的に不足しており、研究開発業務と臨床の相乗効果が不十分で、古典漢方処方や漢方院内製剤の中成薬への転換効率はまだ相対的に低く、効果的な解決策に乏しい。

03

漢方薬値上げリスク

漢方薬はほとんどが自然栽培され、季節ごとに採取される。自然の気候、土壌条件、収穫、乾燥、加工方法によって、生産量や品質の地域分布が明らかに影響を受け、価格は需給の変動の影響を受けやすい。

04

データの出所：公開データ整理、MCRリサーチ、WEB画像

14. 中医薬企業が注目する5つのトレンド

01

漢方薬の主要品種が徐々に出所追跡可能に

現在、漢方薬資源の動態を監視する国家システムが構築され、医薬品のGAP、GMP、GSPも実施されている。漢方薬製造業者が責任を着実にとり、多方面から調整された規制メカニズムが構築され、漢方薬、漢方製剤、漢方錠剤、中成薬の生産・流通・使用の全過程を追跡するシステムも模索されている。2024年頃までに、漢方薬の主要品種の原産地、仕向地、責任を追跡できることを徐々に実現することに力を入れる。

02

ハーブ農業のデジタル変革

漢方薬の栽培は、産地の特性への影響、重金属の高含有、過剰な残留農薬、種子の品質の不均一など、より多くの課題に直面しており、これらは中医薬産業とサービス産業の発展に直接的な影響を及ぼしている。これらの問題を解決するためには、産業チェーンのすべての関係者が新技術を活用し、業界の協調計画と道草基地の建設を強化する必要がある。今後、インターネット技術を利用した薬草栽培のデジタル化は、中医薬産業の健全かつ急速な発展の基礎となるだろう。

03

漢方薬業界、代理店制度を導入へ

代理店制度は、漢方薬と工商企業が自発的かつ共通の利益に基づいて成立した契約または契約を通じて流通に参入し、営利企業が一定の分野で独占的かつ排他的な権利を行使するための方法である。これは商工業間の緊密で安定した関係を助長し、相互補完的な利点、合理的な役割分担を形成し、市場経済の発展の要求に沿った新しいパターンの双方にとってより有利であるため、代理店制度の実施は必須である。

04

「中医薬＋」の開発スペースは有望

国家は積極的に中医薬の発展を支持・推進し、中医薬の継承と革新を促進し、中医薬と西洋医学の同等な重要性を堅持し、中医薬健康産業に政策配当と新たな需要をもたらす。「病気を予防する」、「純粋かつ天然」のユニークな利点は、伝統的な漢方薬の健康産業チェーンの拡張のための広いスペースをもたらすために、漢方薬の健康派生産業が出現し、「漢方薬＋」開発スペースが期待されている。

05

漢方薬の輸出、さらに増加へ

2021年から2025年にかけて，中国は多くの一帯一路諸国と30の海外中医薬センターを建設し、30の中医薬国際基準を公布し、50の中医薬国際協力基地を建設する。中国経済のグローバル化と「一帯一路」構想の推進により、漢方薬の輸出はさらに強化され、世界市場シェアはさらに拡大するだろう。

データの出所：公開データ整理、MCRリサーチ、WEB画像

著作権表示

本レポートは、上海嘉世营销咨询有限公司(MCR)の完全なレポートから抜粋したショート・バージョンです。詳細な内容については、mcr@chinamcr.comまでお問い合わせください。

本レポートにおけるすべての内容（文字記事、写真、映像、イラスト、図表等の資料を含むがこれらに限定されない）は、『中華人民共和国著作権法』、『中華人民共和国著作権法実施規則』および万国著作権条約により保護されています。

本レポートの著作権は、MCRに帰属しており、 転送、転載、引用が必要な場合は、出典を明記しなければならず、内容に関してはいかなる変更も行ってはなりません。

本レポートは無料であり、いかなる組織または個人も、課金を目的として営業活動に使用してはなりません。

Copyright © 2023 Shanghai Justice Marketing Consulting co.,Ltd